山陽小野田市GX推進アクションプラン
（地球温暖化対策実行計画〔区域施策編〕）
令和7年度及び8年度 進捗状況報告書

令和8年（2026年）10月

目次

1　報告書の位置付け
2　温室効果ガス排出量の削減目標
3　目標達成に向けた取組
4　進捗管理の評価指標（令和7年度（2025年度）現況）
5　進捗まとめ

1　報告書の位置付け

山陽小野田市GX推進指針：

令和6年（2024年）6月策定（期間：令和6年度～令和12年度）

本市のGX及び脱炭素化に関する基本理念及び取組の方向性を示す上位方針

山陽小野田市GX推進アクションプラン：

令和8年（2026年）2月策定（期間：令和8年度～令和12年度）

地球温暖化対策推進法（温対法）に基づく地方公共団体実行計画（区域施策編）等として、

脱炭素化及び気候変動適応に向けた具体的な取組を定める計画

本報告：

温対法に基づく地方公共団体実行計画（区域施策編）の実施状況等の公表資料（毎年度作成・公表）

策定年度である令和7年度（2025年度）指標の現況整理

令和7年度（2025年度）及び令和8年度（2026年度）の取組実施状況報告

2　温室効果ガス排出量の削減目標

部門・分野別における直近年度及び2030年度（目標年度）のCO2排出量［千t-CO２］

部門・分野	2013年度（基準年度）	2023年度（2026年3月公表）	基準年度からの削減率	2030年度（目標年度）	削減目標
合　　計	3,414	2,573	-25%	1,844	-46%
産業部門	2,983	2,279	-24%	1,611	-46%
製造業	2,958	2,258	-24%	1,597	-46%
建設業・鉱業	7	5	-29%	4	-46%
農林水産業	18	16	-11%	10	-46%
業務その他部門	109	68	-38%	59	-46%
家庭部門	142	80	-44%	77	-46%
運輸部門	172	139	-19%	93	-46%
自動車	112	91	-19%	61	-46%
旅客	70	54	-23%	38	-46%
貨物	42	37	-12%	23	-46%
鉄道	5	3	-40%	3	-46%
船舶	54	44	-19%	29	-46%
廃棄物分野（一般廃棄物）	8	7	-13%	4	-46%

※赤字は、自治体排出量カルテの数値変更に伴い、修正した箇所を示しています。

3　目標達成に向けた取組（基本理念・基本方針）

基本理念：

「産業競争力と持続可能性を兼ね備えた脱炭素時代のエネルギーダイバーシティ」

基本方針：排出削減の「緩和策」と、影響に備える「適応策」を一体で推進

緩和策：基本方針（1）～（5）

省エネルギーの推進／再生可能エネルギーの導入促進／脱炭素型まちづくりの推進／廃棄物の発生抑制・資源循環の推進／吸収源対策

適応策：基本方針（6）

気候変動適応策（農林水産・水環境・生態系・災害・健康）

体　制：市民・事業者・大学・団体・行政等が連携

3　目標達成に向けた取組（緩和策・基本方針①）

（1）省エネルギーの推進

・市施設（体育館等）の照明のLED化　➤令和7年度実績：6か所

・県が実施する省エネ診断などを市民へ周知　➤令和7年度実績：24人



小野田小学校体育館



省エネ診断の様子

3　目標達成に向けた取組（緩和策・基本方針②）

（2）再生可能エネルギーの導入促進

・市、出光興産株式会社、西部石油株式会社による包括連携協定会議を実施
　地域の持続可能な発展と脱炭素化社会の実現を推進

➤令和8年2月会議にて、協定期間を2年間延長

今後、より緊密な3者連携のもと脱炭素に資する新規事業の検討を進めることに合意



包括連携協定会議の様子

3　目標達成に向けた取組（緩和策・基本方針②）

（2）再生可能エネルギーの導入促進

・宇部・山陽小野田地域コンビナート企業連携検討会議

➤2050年カーボンニュートラル実現に向けたロードマップの作成

➤脱炭素への取組紹介や交流、マッチングを目的とした「GX交流会」を開催（12/5）

➤「産業間連携によるカーボンリサイクル技術実装推進事業（NEDO公募事業）」の　採択（3/4）

・宇部港・小野田港港湾脱炭素化推進協議会

➤計画策定に向けた協議会の開催（6/3,8/28,2/5）

➤宇部港及び小野田港港湾脱炭素化推進計画の策定（3/26）



宇部港・小野田港港湾脱炭素推進協議会

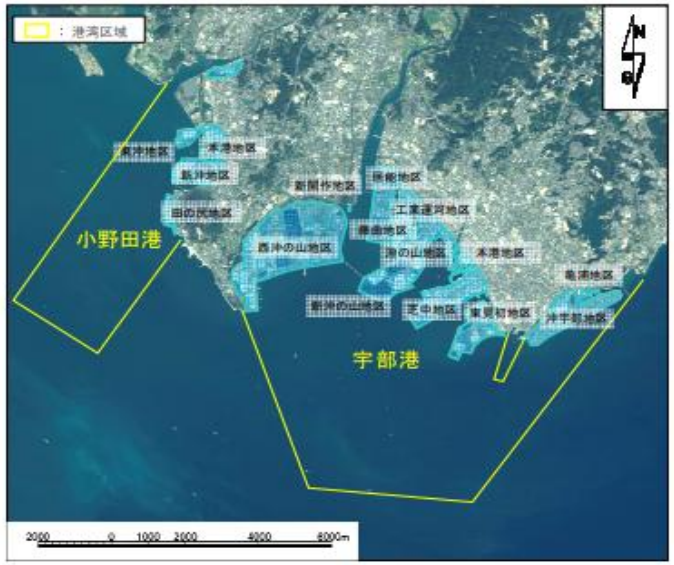
宇部港及び小野田港港湾脱炭素化推進計画（概要版）

港湾脱炭素化推進計画の策定目的

脱炭素社会の実現に向けて、カーボンニュートラルポート（CNP）の形成を推進するため、宇部港・小野田港において、官民連携による港湾における脱炭素化の取組を定める港湾脱炭素化推進計画を策定するもの。

港湾脱炭素化推進計画の基本的な方針

【計画の対象】



●港湾区域及び港湾に関連する背後圏

- ターミナルにおける脱炭素化の取組
- ターミナルを経由して行われる物流活動に係る取組（海上輸送、トラック輸送、倉庫等）
- 臨海部に立地する企業（化学工業、セメント製造業、発電等）の活動に係る取組　　等

【目指すべき方向性】

宇部港と小野田港の両港が連携し、地域コンビナートのグランドデザインに描かれた「カーボンニュートラルコンビナートの実現により新たな産業を創出し、魅力的な街への発展」に貢献するとともに、「エネルギー供給拠点としての機能確保」や「物流ターミナルの脱炭素化」への対応を進め、官民連携による脱炭素化に向けた港湾の効果的な利用を促進することを目指すべき方向性とする。

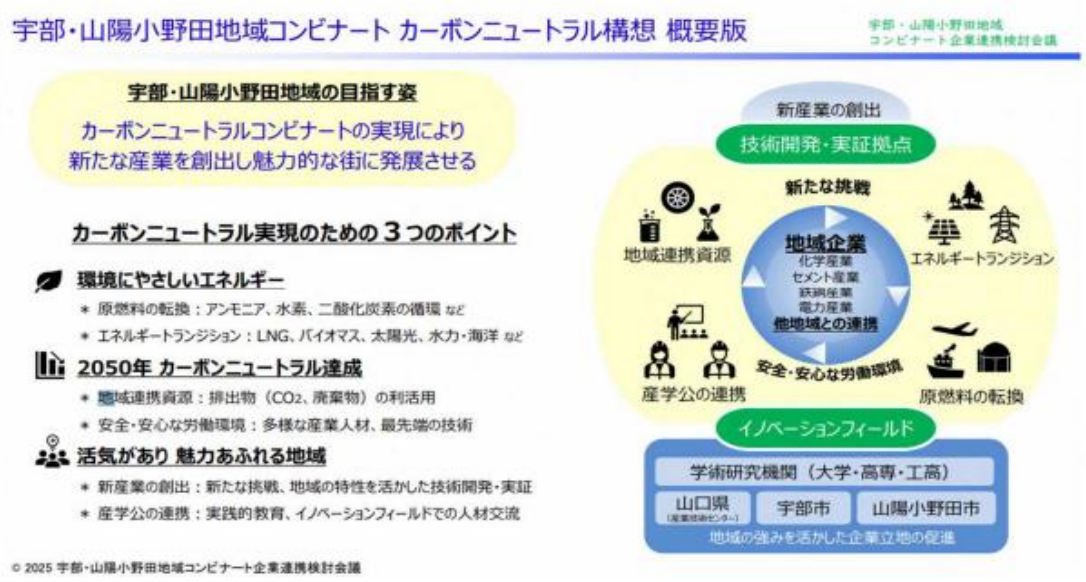


図　宇部・山陽小野田地域コンビナートカーボンニュートラル構想

宇部港及び小野田港におけるカーボンニュートラルポート形成イメージ



※地理院地図（電子国土web）上に情報を加筆

3　目標達成に向けた取組（緩和策・基本方針②）

（2）再生可能エネルギーの導入促進

・GX戦略地域制度（山口県）

➤「コンビナート再生型GX戦略地域計画申請書」を提出（2/10）

➤一次審査で有望地域の選定（4/24）

　選定地域：千葉県、川崎市、兵庫県、香川県、岡山県、山口県

➤GX戦略地域第1弾は、コンビナート等再生型で川崎市が認定（9/11）

・山口県は今後、事業計画の内容（競争力、実現可能性、事業者ニーズ等）を更に精査し、第2弾認定を狙う。



令和7年度第1回山口県コンビナート連携会議
「STATEMENTボード」セレモニーの様子

3　目標達成に向けた取組（緩和策・基本方針③）

（3）脱炭素型まちづくりの推進

・地球温暖化対策地域協議会等の団体と連携した環境学習に関する機会の提供
また、積極的な参加を促進

➤令和7年度参加者数：環境展686人　環境学習出前講座240人（講座回数全8回）



環境展の展示



出前講座の講話の様子

3　目標達成に向けた取組（緩和策・基本方針③）

（3）脱炭素型まちづくりの推進

・脱炭素型ライフ・ビジネススタイルを実践する山口県の「2050ゼロカーボン・チャレンジ～ぶちエコやまぐち県民運動～」について、市や市内事業者も取り組む

➤ぶちエコやまぐち宣言市内事業所数：41事業所

➤ぶちエコやまぐち宣言に取り組む市施設：15施設


事業所（企業、団体、学校など）の皆さんへ

ぶちエコやまぐち宣言事業所を募集します！！

平成28年度に始まった「ぶちエコやまぐち宣言事業所」は、現在、約1,100事業所が省エネ活動を宣言・実践しています。
次のいずれか1つ以上の取組を行うことを宣言して、積極的に脱炭素型ビジネススタイルへの転換を図りませんか？

取組項目	実施期間	概要	宣言事業所数
クールビズ	5～10月（目安）	冷暖房の適切な使用 ※室温の目安：夏28℃、冬20℃	729
ウォームビズ	12～2月（目安）	夏季、冬季を快適に過ごすための工夫 （服装や飲食物 等）	662
ライトダウン	夏至～七夕、12月〈重点日〉夏至、七夕、冬至	不要な電気の消灯 夜8時～10時まで屋外照明施設の消灯	279
緑のカーテン	5～9月	夏季の強い日差しをカットし、冷房の使用を抑制	259
ノーマイカー	通年〈取組強化〉6、12月10月第3金曜日	マイカーを使わない通勤 （自転車や公共交通機関の利用 等）	529
エコドライブ	通年	車間にゆとりをもった加速・減速の少ない運転 ふんわりアクセルで発進 等	623
エコ活動	通年	リースサービス等の活用 環境美化活動への参加 等	674

取組応援

ご自身のCO_2排出量を知って、省エネ・エコな暮らしを学んで、暮らしの中で実践することでポイントが貯まるスマートフォンアプリ「ぶちエコアプリ」を配信中です。
貯まったポイントで抽選ができ、商品券などが当たります！
1人1人の脱炭素型ライフ・ビジネススタイルへの転換を後押しします。
積極的にご活用ください

アプリの詳細はこちらから

令和7年度は
1,081事業所で
133t-CO_2削減！
約1万5千本分のスギに相当するっちゃ！

募集期間

〈1次募集〉令和8年5月15日（金）
〈2次募集〉随時
※宣言された事業所の皆さんに対し、「県HPに事業所名・取組事項の掲載」及び「ミニのぼり送付」をしています。
掲載が困難等ありましたら、お問い合わせ先まで御連絡をお願いします。

申込み・問い合わせ先

山口県 環境生活部 環境政策課 地球温暖化対策班
〒753-8501 山口市滝町1番1号
(TEL)083-933-2690
(FAX)083-933-3049
(Mail)a15500@pref.yamaguchi.lg.jp

3　目標達成に向けた取組（緩和策・基本方針③）

（3）脱炭素型まちづくりの推進

・レノファ山口と連携し、小学生を対象とした探究学習プログラム「サステナトレセンプロジェクト」

令和8年9月末事業スタート

内容：GXを切り口に地域課題を学び、企業、地域、行政等との対話を通 じて、児童のまちづくりのアイデアを実践につなげる。

対象：小野田小学校5年生



3　目標達成に向けた取組（緩和策・基本方針④）

（4）廃棄物の発生抑制、資源循環の推進

・使用済小型家電回収ボックスの設置
（市役所・各地域交流センター等、13か所設置）
➤令和7年度回収実績：3,250kg

・生ごみの減量化及び再資源化を図るため、
生ごみ処理容器の購入に係る補助金交付
➤令和7年度交付実績：10件　160,900円



小型家電回収ボックス
（市民館）

3　目標達成に向けた取組（緩和策・基本方針④）

（4）廃棄物の発生抑制、資源循環の推進

・令和7年（2025年）7月、家庭から出る廃食油を原料としたSAF（持続可能な航空燃料）製造に関するプロジェクトがスタート。
市内7店舗のスーパーマーケットに廃食油の回収ボックスを設置。

➤令和7年度回収実績：1,864リットル



キックオフセレモニーの様子



回収ボックスイメージ
（出典：日本航空株式会社HP）

3　目標達成に向けた取組（緩和策・基本方針⑤）

（5）吸収源対策

・公共施設や家庭、事業所に緑のカーテンの設置を促進するため、毎年ゴーヤの苗の無料配布

➤令和7年度配布実績：市民84世帯252本、公共施設14施設167本

緑のカーテン写真展応募件数：27件



市役所の緑のカーテン



園児によるゴーヤの植え付けの様子

3　目標達成に向けた取組（適応策・基本方針⑥）

（6）気候変動適応策

・地域防災力向上のため、継続的な防災訓練の実施
➤令和7年度実績：各地区防災訓練11回／出前講座27回

・熱中症に関する注意喚起や情報発信を実施
➤クーリングシェルター（市施設の指定数）：16か所



防災に関する出前講座の様子



4　進捗管理の評価指標（令和7年度（2025年度）実績）−1

基本方針の達成度を評価するための指標であり、毎年度実績を把握・公表

基本方針	評価指標	当初実績値 令和6年度 （2024年度）	実績値 令和7年度 （2025年度）	目標値 令和12年度 （2030年度）
省エネルギーの推進	家庭におけるストップ温暖化診断者数〔人／年〕	41	24	70
	脱炭素に積極的に取り組む事業所数（累計）〔事業所〕	68	87	100
再生可能エネルギーの導入促進	再生可能エネルギー発電設備容量〔kW〕	253,006 令和5年度	256,457 令和6年度	341,095
	再生可能エネルギー発電電力量〔MWh〕	925,941 令和5年度	941,725 令和6年度	1,053,124
脱炭素型まちづくりの推進	広報やSNS等を活用した脱炭素に関する啓発活動回数〔回／年〕	15	16	20
	環境学習参加者数〔人／年〕	221	240	340
	GX関連研究件数（累計）〔件〕 ※山口東京理科大学との連携	13	15	25

4　進捗管理の評価指標（令和7年度（2025年度）実績）−2

基本方針	評価指標	当初実績値 令和6年度 （2024年度）	実績値 令和7年度 （2025年度）	目標値 令和12年度 （2030年度）
廃棄物の発生抑制、資源循環の推進	市民1人1日当たりごみ排出量〔g／日〕	901.4	909.2	876.4
	ごみリサイクル率〔%〕	20.8	21.5	22.4
吸収源対策	森林面積〔ha〕	6,168	6,131	6,168
気候変動適応策	防災訓練及び出前講座等の開催回数〔回／年〕	41	38	45
	海域・河川・湖沼の水質環境基準達成率〔%〕	98.7	94.6	98.7

5　進捗まとめ

①全体概要
・令和8年（2026年）2月
　GX推進アクションプランを策定
・ゼロカーボンシティ宣言を表明

②産業部門
・GX西部包括連携協定会議を継続実施
・県が推進するGX戦略地域制度で有望地域に選定。
県や関係企業等と連携した取組

③ 地域全体
・市施設LED化、環境学習・啓発、資源循環の取組を推進
・防災訓練、熱中症対策など適応策も実施

④今後の取組
・産業部門を中心に脱炭素化を加速
・地域全体の取組を継続・強化
・国、県、関係機関等との連携を行い、施策の推進に努める

産業部門のGX推進を軸に、地域振興と両立したゼロカーボンシティの実現を目指す